

鳴神山



柳津小学校
学校だより

2018. 1. 18

No. 33

文責 川井 孝寿

校庭にゲレンデ出現！！～スキーの練習も始まりました！～

11日（木）に、本校の校庭にスキー練習用のゲレンデを作っていただきました。低学年を中心に、簡単な曲がり方や止まり方を練習するための緩斜面の雪山です。昨年同様に、教育委員会を通して町に相談したところ、すぐに対応してくださいました。

しかも単なる雪山ではなく、転落防止の雪の壁があり、また、斜面の角度や方向もよく調整されたものです。大きなブルドーザーを手足のごとく操りながら、勢いよく次から次へと校庭の雪を積み上げる様子は圧巻で、さらに細部まで丁寧に仕上げる『匠の技』に、下校時の子ども達もしばらく足を止め、食い入るように見つめていました。

おかげさまで、スキーの練習も始めることができました。2月2日（金）のスキー教室まで、しっかり練習して参りたいと思います。

お忙しい中、急なお願いに快く対応してくださいました町当局の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



上手に飾れました！～2年生の『団子さし』！～



『団子さし』と言えば、言わずと知れた小正月の行事ですが、先日、本校の2年生が、生活科の学びの一環として、自分たちで作った団子をみず木の枝に刺して、小正月をお祝いしました。

郷土の伝統的なこの行事では、団子をさしたり、縁起の良いものを飾ったりしながら家内安全や五穀豊穰、無病息災などを祈ったと言われていています。2年生の子ども達はどうな願い事を託したのでしょうか。とっても楽しそうに団子をさす姿が印象的でした。

子ども達の心のこもった団子の木は、玄関ホールに飾られ、行き交う児童や教職員の目を楽しませてくれています。



雪の季節も大丈夫！～積雪時の避難経路を確認～

昨日、今年度3回目の避難訓練を実施しました。今回は、積雪の中であり、また、休み時間中という設定でした。今までとはちょっと違った緊張感がありましたが、子ども達は教師の指示をよく聞き、防寒着を着用し、長靴にも履き替えて、自分で判断しながら、安全かつ速やかに避難することができました。

『備えあれば憂いなし』と申しますが、これからも様々な条件下での訓練を実施し、どんな緊急時にも冷静に正しく対応できる力を育てていきたいと考えます。